

愛に生き

深川市立一已中学校 学校だより 11/12

発行者：深川市立一已中学校 電話：0164-22-3341 FAX：0164-22-3653
<http://ed.city.fukagawa.hokkaido.jp/ichiy-an-jh/index.html>

真に生き

美に生きる

教育活動の振り返り

校長 松井 正明

朝夕の肌寒さに、冬の気配を感じますが、皆様におかれましては、益々ご健勝のことと拝察もうしあげます。学校では、大きな行事も終了し、落ち着いた中で学習に取り組んでおります。また、タブレット端末の持ち帰り実証実験においても大きな不具合も無く、今後のオンライン授業に向けての第一歩となりました。

さて職員室では、今年度の教育活動を振り返るとともに来年度を創造する「年度反省・新年度計画」の取組が動き出しているところです。コロナ渦の中で様々な制約がかけられた一已中でしたが、今までの当たり前を見直し、新たな気づきを多くもたらした1年でした。

まずは、現状をしっかりと捉え、日常の学校生活において優先順位を踏まえ、実情に応じた教育内容を厳選してまいりたいと考えております。

保護者の皆様には、学校教育アンケートをお願い致しますが、今回よりWEBアンケートとさせていただきますので、ご不明な点や不具合がありましたら遠慮無く申し出いただき回答いただきますよう、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

全国学力・学習状況調査からわかる 家庭学習の大切さ

本校は、学力向上の取り組みを通して授業改善に取り組み、安定した成果を示しています。調査でも生徒の通塾率は全国平均並みであり、国語・数学の勉強を大切だと考える生徒の割合は全国平均に比べて高く、学習に対しても前向きです。

しかし、家庭学習に計画的に取り組んでいるものの、全国平均と比べて勉強時間が少ないこと（1日あたり1時間未満生徒が約4割）が大きな課題としてあげられます。

家庭学習で大切なことは、「勉強のやり方」を学校が具体的に教えること、そして家庭で子どもがそれを着実に実行できることです。お子さんの家庭学習を充実させたい場合は、遠慮なく担任や教科の先生に相談し助言をもらってください。お子さんの望ましい学習習慣形成のために学校と家庭が連携して少しずつ進めて参りたいと考えております。

学校全体での具体的な指導を通して家庭学習習慣化につなげるため、令和3年度「一已中学校学習の手引き」を学校HPに掲載しました。ぜひご覧ください。

一已中学校 TOPICS

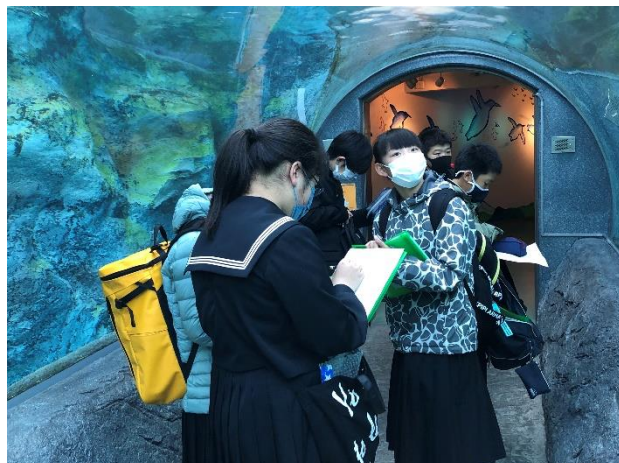
命の大切さを再認識

赤ちゃんふれあい教室が行われ、次代を担う思春期の3年生が、妊娠・出産に関する知識を学び、体験を通じて豊かな人間性を育む取組を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部内容を変更して実施しました。



満面の笑み 1年見学旅行

穏やかな晴天に恵まれ、充実した見学旅行になりました。見学先の旭山動物園では理科（生物分野）の課題が出され、アタマに汗をかくくらい考えさせられる場面がありました。どの生徒も一已中学生として立派な学習態度でした。



学校改善＝授業改善

一已中学校公開研究会が開かれ、市内外から20名ほどの先生方が来校しました。学ぶ生徒や生徒に対応する教師の姿を参観し、研究協議ではたくさんの貴重なご意見をいただきました。これらの意見を授業改善につなげていきます。



進路説明会

道教委では、2022年度より道立高校入試の一般入学者選抜を変更します。変更内容の説明や進路スケジュールについて、説明が行われました。生徒自身が納得し、意欲と自信をもった進路選択となるよう指導していきます。



令和時代の学びのスタイルとして、また学校における新型コロナウイルス感染症対策について、学びの保障の手立ての一つとして、Chromebookを持ち帰り、「すららドリル」での家庭学習を実施しました。これからタブレット端末を生かした学習環境の充実を図ることが必要だと判断し実施させていただきました。ご理解ご協力ありがとうございました。

「すららドリル」については、生徒自身が好きなだけ予習や復習を進めることができます。インターネット環境があれば家庭でも学習できますので、ぜひご活用ください。